

2024年3月4日

各 位

会社名 いちご株式会社  
代表者 代表執行役会長 スコット キャロン  
(コード番号 2337 東証プライム)  
問合せ先 常務執行役財務本部長 坂松 孝紀  
(電話番号 03-4485-5221)  
[www.ichigo.gr.jp](http://www.ichigo.gr.jp)

## 「ZEB Oriented」評価取得のお知らせ (いちご花京院ビル)

当社は、企業の存在意義は社会貢献であると考えており、サステナブル（持続可能）な社会を実現するための「サステナブルインフラ企業」として大きな成長を図るとともに、事業活動を通じて社会的責任を果たすことを最大の目標としております。

このたび、当社が保有するオフィスビル「いちご花京院ビル」にて「BELS（建築省エネルギー性能表示制度）」における最高評価 5 スター評価を取得するとともに、当社初となる「ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）」認証の「ZEB Oriented」評価を取得いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

### 1. 評価取得物件



物件名	いちご花京院ビル
所在地	宮城県仙台市青葉区花京院 2-1-65
延床面積	11,460.54m <sup>2</sup>
構造/階数	S造 14F
建築時期	2008年3月
BELS評価	5 Star（最高評価）
ZEB評価	ZEB Oriented

## 2. BELS および ZEB の概要

BELS とは、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律に基づき、非住宅建築物の省エネルギー性能を第三者機関が評価する制度です。一次エネルギー消費量から算出される BEI (Building Energy Index) の値によって評価され、省エネルギー性能が 5 段階（最高評価★★★★★）で表示されます。

ZEB とは、快適な室内環境を保ちながら、建物の高断熱化や高効率の設備等により省エネルギーに努めたうえで、再生可能エネルギーの導入により、建物で消費する年間の一次エネルギー収支をゼロにすることを目指す建物です。ZEB 認証は、BELS 制度を利用し、「ZEB」、「Nearly ZEB」、「ZEB Ready」、「ZEB Oriented」の 4 段階で表示され、このたび「いちご花京院ビル」が取得した「ZEB Oriented」は、ZEB 化が困難とされる大規模建築物（延床面積 10,000m<sup>2</sup>以上）を対象として、基準値に対する 40%以上の一次エネルギー消費量削減のほか、さらなる省エネルギーの実現に向けた措置（未評価技術）の導入が要件とされております。

ZEB および BELS については以下をご参照ください。

ZEB（環境省による「ZEB PORTAL」サイト）：[www.env.go.jp/earth/zeb/detail/01.html](http://www.env.go.jp/earth/zeb/detail/01.html)

BELS（認証制度に関する運営サイト）：[www.hyoukakyokai.or.jp/bels/bels.html](http://www.hyoukakyokai.or.jp/bels/bels.html)

## 3. 「いちご花京院ビル」の取り組み

いちご花京院ビルでは、全館の LED 化が完了していることに加え、照明制御システムの導入等を実施しております。さらに、空調設備の最適化および高効率化を進め、基準一次エネルギー消費量（※1）から 40%削減を継続的に目指してまいります。また、テナント従業員の方々へ、より快適なオフィス空間を提供するため、植栽によるランドスケープデザインや、憩いと交流の場となる共用ラウンジの設置等、心築（※2）により物件価値と環境価値双方のさらなる向上を図ってまいります。

なお、「いちご花京院ビル」は、建築物の環境性能を評価し格付けする「CASBEE」不動産評価認証における最高評価「S ランク」も取得しております。

（※1）基準一次エネルギー消費量

不動産の設備、地域、用途などにより定められている基準エネルギー消費量

（※2）心築（しんちく）

いちごの不動産技術とノウハウを活用し、一つ一つの不動産に心を込めた丁寧な価値向上を図り、現存不動産に新しい価値を創造することをいい、日本における「100 年不動産」の実現を目指しております。

## 4. 環境課題に向けたいちごの取り組み

当社は、人類、社会そして地球の一員として、「サステナブル経営」の実現を重要な経営課題としております。豊かさと環境が共存する未来のため「脱炭素社会」に向けた取り組みを加速しており、RE100（※）の目標達成年限を 2025 年とし、早期実現に向け、再生可能エネルギーの導入を進めております。また、「クライメート（気候）・ポジティブ」の実現を目指し、温室効果ガスの排出量削減とともに、当社のクリーンエネルギー事業による再生可能エネルギーの創出に全力で取り組んでおります。

当社は、社会をより良い状態で次世代へ継承するため、保有物件の ZEB 化推進および RE100 の達成、また当社の「心築」と「クリーンエネルギー」事業を通じ、資源・エネルギーを守り、引き続き、環境循環型社会の実現を目指してまいります。

（※）RE100

世界で影響力のある企業が自らの事業で使用する電力を、発電時に CO<sub>2</sub> を排出しない再生可能エネルギーで 100%調達することにコミットし、将来的に脱炭素（カーボンニュートラル）社会に移行することを目的とする国際イニシアティブです。

以 上